＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	千の国優良住宅
グループの名称	千の国研究会
直近採択グループ番号	04-0777-0235

（グループ代表者）

代表者名	森田　和樹　代表者印
代表者所属先	有限会社清水台工務店
代表者所在地	千葉県野田市清水660-2
代表者電話番号	04-7122-0213

（グループ事務局）

事務局事業者名	有限会社清水台工務店
事務局担当者名	森田　和樹　印
事務局郵便番号	278-0043
事務局所在地	千葉県野田市清水660-2
事務局電話番号	04-7122-0213
事務局FAX	04-7123-8355
事務局担当者E-mail	sennokuni_kenkyukai@yahoo.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	千の国優良住宅
２．グループの名称(必須)	千の国研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0777-0235
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	千葉県及び埼玉県、茨城県、東京都、神奈川県、福島県
５．結成年(必須)	2014　年
６．グループ代表者名(必須)	森田　和樹
７．グループ代表者の所属先(必須)	有限会社清水台工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	千葉県野田市清水660-2
９．グループ代表者電話番号(必須)	04-7122-0213
１０．グループ事務局事業者名(必須)	有限会社清水台工務店
１１．グループ事務局担当者名(必須)	森田　和樹
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	278-0043
１３．グループ事務局所在地(必須)	千葉県野田市清水660-2
１４．グループ事務局電話番号(必須)	04-7122-0213
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	04-7123-8355
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	sennokuni_kenkyukai@yahoo.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	4	海外産の木材の場合、原木供給は構成員に含めない。
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	8	海外で製材されている場合、製材事業者は構成員に含めない。
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	9	供給ルートによっては建材流通を含まない場合がある。
Ⅳ. プレカット	10	構成員による手刻み加工の場合、供給ルートにプレカットは含まない。
Ⅴ. 設計	5	同名の施工事業者が設計を行う場合は、構成員には登録しない。
Ⅵ. 施工	14	
Ⅶ. 木材を扱わない流通	0	
Ⅷ. Ⅰ～Ⅶ以外の業種	3	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	使用する地域材は必須項目です。				

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		7	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	7	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		申請が未確定（上限100万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限100万円）		4	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	4	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限150万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		7	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	7	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限165万円）		7	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	7	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	
			㎡	
		申請が未確定	棟	
			㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	1社1棟を基本として分配していく。 1社1棟に満たない場合、未経験施工店から優先して分配していく。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	10	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	10	戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	5	戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸
当初予算	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外産の木材の場合、原木供給は構成員に含めない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
30	Ⅰ － 20	株式会社　山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
13	Ⅰ － 21	協和木材　株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号　東京原木会館	03-5857-5225
34	Ⅰ － 26	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号	0823-71-7141
45	Ⅰ － 27	都城地区製材業協同組合		885-1103	宮崎県都城市上水流町2878番地	0986-36-3010
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外で製材されている場合、製材事業者は構成員に含めない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
30	Ⅱ － 20	株式会社　山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
13	Ⅱ － 21	協和木材　株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号　東京原木会館	03-5857-5225
45	Ⅱ － 31	株式会社　川上木材		880-2101	宮崎県宮崎市大字跡江4325番1	0985-47-2834
34	Ⅱ － 32	中国木材　株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
8	Ⅱ － 35	宮の郷木材事業協同組合		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-25	0294-70-3901
39	Ⅱ － 36	レイホク木材工業協同組合		781-3618	高知県長岡郡本山町吉野305番地	0887-70-1388
39	Ⅱ － 67	高知おおとよ製材株式会社		789-0313	高知県長岡郡大豊町川口字川口南2035番地1	0887-70-0020
13	Ⅱ － 68	株式会社 ザイエンス		100-0005	東京都千代田区丸の内2-3-2郵船ビル	03-3284-0501
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
供給ルートによっては建材流通を含まない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
45	Ⅲ － 31	株式会社　川上木材		880-2101	宮崎県宮崎市大字跡江4325番1	0985-47-2834
34	Ⅲ － 32	中国木材　株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
11	Ⅲ － 40	グッドハウザー株式会社		344-0102	埼玉県春日部市西宝珠花618	048-748-2211
12	Ⅲ － 41	株式会社　ひらい		299-0111	千葉県市原市姉崎736-1	0436-62-2201
12	Ⅲ － 42	株式会社　やまや木材		277-0032	千葉県柏市名戸ケ谷1165	04-7100-3821
12	Ⅲ － 43	株式会社　シー・エス・ランバー		262-0033	千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-16-3　相葉ビル	043-213-8810
12	Ⅲ － 47	山二林産　株式会社		298-0206	千葉県夷隅郡大多喜町横山1355	0470-82-3651
11	Ⅲ － 48	有限会社　名倉材木店		342-0035	埼玉県吉川市高久1-1-5	048-982-7012
12	Ⅲ － 69	株式会社　大平商会		286-0223	千葉県富里市新中沢473	0476-93-6729
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
構成員による手刻み加工の場合、供給ルートにプレカットは含まない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
30	Ⅳ － 20	株式会社 山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
12	Ⅳ － 41	株式会社 ひらい		299-0111	千葉県市原市姉崎736-1	0436-62-2201
12	Ⅳ － 43	株式会社 シー・エス・ランバー		262-0033	千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-16-3 相葉ビル	043-213-8810
12	Ⅳ － 47	山二林産 株式会社		298-0206	千葉県夷隅郡大多喜町横山1355	0470-82-3651
12	Ⅳ － 51	株式会社 大三商行 東金工場		283-0826	千葉県東金市丘山台3-3	0475-54-6622
22	Ⅳ － 52	株式会社三ツワ		411-0042	静岡県三島市平成台20番地	055-986-7550
8	Ⅳ － 53	株式会社三ツワ 金砂郷工場		313-0114	茨城県常陸太田市箕町1075-9	0294-76-3000
9	Ⅳ － 54	ゼネラルリブテック 株式会社		322-0026	栃木県鹿沼市茂呂2626番地1	0289-60-1188
45	Ⅳ － 55	ランバー宮崎協同組合		880-2213	宮崎県宮崎市高岡町上倉永2515番地	0985-82-0331
9	Ⅳ － 74	テクノウッドワークス株式会社		322-0014	栃木県鹿沼市さつき町16-1	0289-72-0107
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
同名の施工事業者が設計を行う場合は、構成員には登録しない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
12	Ⅴ － 16	有限会社 清水台工務店 一級建築士事務所		278-0043	千葉県野田市清水660-2	04-7122-0213	○	
11	Ⅴ － 57	豊田事務所		341-0018	埼玉県三郷市早稲田2-25-3	048-957-1234	○	
12	Ⅴ － 59	有限会社 早川建設二級建築士事務所		295-0101	千葉県南房総市白浜町乙浜440	0470-38-5057	○	
12	Ⅴ － 60	有限会社 三須工業 一級建築設計事務所		266-0005	千葉県千葉市緑区誉田町2丁目21番地90	043-291-0195	○	
12	Ⅴ － 61	有限会社 アーネストホーム 一級建築士事務所		270-2204	千葉県松戸市六実2-33-1	047-389-6511	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							14	○	○
12	Ⅵ － 1	61496	有限会社 清水台工務店		278-0043	千葉県野田市清水６６０－２	04-7122-0213	○	
12	Ⅵ － 2	41843	株式会社 小沢工務店		297-0026	千葉県茂原市茂原１０４７－９	0475-26-6636	○	
12	Ⅵ － 3	41831	有限会社 国松工務店		298-0202	千葉県夷隅郡大多喜町下大多喜３４４１	0470-82-2709	○	
12	Ⅵ － 5	61432	株式会社 宮城建設		275-0011	千葉県習志野市大久保１－１５－１３	047-472-2292	○	
12	Ⅵ － 6	61444	創英建興 株式会社		278-0004	千葉県野田市横内６６－３３	047-123-6611	○	
12	Ⅵ － 7	41850	株式会社 神野工務店		270-1431	千葉県白井市根１７８０－１１６	047-492-8362	○	
12	Ⅵ － 8	41864	有限会社 早川建設		295-0101	千葉県南房総市白浜町乙浜４４０	0470-38-5057	○	
12	Ⅵ － 9	41824	株式会社 ハルク		273-0122	千葉県鎌ケ谷市東初富４－３６－５－１Ｆ	047-498-8010	○	
11	Ⅵ － 10	41746	トヨダ建設 株式会社		341-0018	埼玉県三郷市早稲田２－２５－３	048-957-4359	○	
12	Ⅵ － 11	61464	株式会社 浩和建設		266-0005	千葉県千葉市緑区誉田町2丁目21番地１１８９	043-292-6323	○	
12	Ⅵ － 13	61539	有限会社 渡辺忠雄工務店		272-0835	千葉県市川市中国分２－２２－１１	047-372-7555	○	
12	Ⅵ － 14	61599	株式会社 がってんしょうち		270-0011	千葉県松戸市根木内６２－１	047-374-6633	○	
12	Ⅵ － 65	61498	有限会社 アーネストホーム		270-2204	千葉県松戸市六実２－３３－１	047-389-6511	○	
12	Ⅵ － 73	41875	有限会社 長島建設		270-0105	千葉県流山市大字平方２５０－１５４	04-7153-4410	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
12	Ⅵ－ 1	61496	有限会社 清水台工務店	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡		○	○	○	○
12	Ⅵ－ 2	41843	株式会社 小沢工務店	10 戸	10 戸	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	3 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
12	Ⅵ－ 3	41831	有限会社 国松工務店	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡				○	
12	Ⅵ－ 5	61432	株式会社 宮城建設	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○	○	
12	Ⅵ－ 6	61444	創英建興 株式会社	2 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
12	Ⅵ－ 7	41850	株式会社 神野工務店	3 戸	4 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○			○	○
12	Ⅵ－ 8	41864	有限会社 早川建設	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡		○		○	
12	Ⅵ－ 9	41824	株式会社 ハルク	4 戸	3 戸	1 戸	1 戸	2 戸	1 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○			○	○
11	Ⅵ－ 10	41746	トヨダ建設 株式会社	3 戸	3 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡		○		○	○
12	Ⅵ－ 11	61464	株式会社 浩和建設	5 戸	14 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
12	Ⅵ－ 13	61539	有限会社 渡辺忠雄工務店	1 戸	2 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○		○	○	
12	Ⅵ－ 14	61599	株式会社 がってんしょうち	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
12	Ⅵ－ 65	61498	有限会社 アーネストホーム	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○	○	○	○
12	Ⅵ－ 73	41875	有限会社 長島建設	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 70	株式会社 フォーラム・ジェイ		175-0082	東京都板橋区高島平9-8-2	03-5920-7050
13	Ⅷ － 71	一般社団法人　ハウスワランティ		130-0026	東京都墨田区両国3丁目25番5号　JEI両国ビル11階	03-5638-0086
13	Ⅷ － 72	一般社団法人　日本あんしん設備保全協会		103-0007	東京都中央区日本橋浜町3-26浜町京都ビル3F	03-6661-1841
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 千の国優良住宅	（地域型住宅供給対象地域） 千葉県及び埼玉県、茨城県、東京都、神奈川県、福島県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 千の国研究会	（結成年） 2014　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0777-0235	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	【基本性能】千葉県の気候風土に対応した人（健康）と（環境・自然）にやさしい高い基本性能を持つ住宅を提供する。 1）全棟、断熱等性能等級4の標準とする。（高い断熱性能による省エネ化をもたらし、地球のECOに貢献する） 2）一次エネルギー消費量等級4をクリアする。 3）外壁通気構造を標準とする。（住まい手の健康性にも留意し、千葉の通風（風）を大切にした家とする） 4）全棟、基礎に断熱材を施工し、更なる高気密・高断熱を実現する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	【将来の自然災害に負けない長く住み続けられる住宅】 ○（丈夫・劣化性）　劣化対策を講じる。 ⇒1）ベタ基礎を標準とする。（土壌／基本性能）　2）基礎高400mmを標準とする。（基礎劣化対策） ○（維持管理性）『維持管理対策等級3』の基準の内、最低2つクリアする。 ⇒専用配管が、壁、柱、床、はり及び基礎の立ち上がり部分を貫通する場合を除き、コンクリート内に埋め込まれていないこと等。 ●（耐震性）　耐震等級2以上を標準とする。（長寿命型住宅のみ）	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	【首都圏ヒートショックに対し過ごしやすいデザインを心がける】 ○（健康性）風向きを考慮した窓の配置を心がける。より高い計画換気の実施 、グリーンカーテン設置を推奨する。 ⇒住宅通風シュミレーションを実施する。	◎
④ ①～③の背景	○三方を海に囲まれた千葉県は、年間通して温暖な気候であり、内陸部については自然環境に恵まれた地域である。一方、県北西部や東京湾臨海部等は、都心への近接性や通勤利便性向上から新興住宅が増え、都市化が進み省エネに対する関心が高まっている。 ○東日本大震災では、県内最大震度6弱を記録し、一部地域では液状化の被害は約12,000世帯にも及び、県内の多くが特定被災区域に指定された。現在、「直下型地震」や「南海トラフ地震」についても危惧されており、災害対策に強く関心をもっている地域である。 以上のことから、昨年度に引き続き当グループは長く安心して住み続けられる住宅を目指し、「防災・省エネ・維持管理」をコンセプトとし、千葉の特性に合った良質な安全・安心な住宅を消費者に提供し、地元企業が連携することにより、地元地域に貢献・還元できる地域型住宅を提供する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	【長く大切に安心して暮らせる住宅（維持管理サービスの充実） ⇒住まい手からのトラブルに即時に対応できるよう24時間コールセンターを設置し、維持管理体制の強化を図る。 ⇒太陽光発電設備に対して、第3者機関による「日本初の10年定期点検プラン」の導入を検討する。 （ゼロ・エネルギー住宅・太陽光発電住宅のみ）	○

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容:	
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 仕様・規格を統一化した発泡ポリウレタン製の断熱材を全棟に使用している。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 4-ア-①、4-ア-②の仕様に加え、仕様・規格を統一した断熱材の使用、工法の統一（木造軸組工法）を行っている。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: グループ標準仕様となっている発泡ポリウレタン製の断熱材については、仕入れ元を統一している。	◎
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容:	
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 委員会は設置していないが、グループ構成員による毎月定例勉強会を実施しており、その中で、生産の合理化等に資する取組、グループの中長期的な方針・取組について検討している。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容: グリーン化事業における申請事務等を積極的にサポートし、施工メンバーの事務手間を減らす事で、生産に携わる時間が増えるようにしている。	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容: 4-ア-①、4-ア-②の達成に加え、気密測定の実施を必須としている。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容: 気密測定を実施し、共通の「気密測定報告書」を作成の上、お施主様に提出している。また、地盤の簡易液状化診断を実施し、報告書をお施主様に提出している。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容: グループ共通の見積書を作成している。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容: 第3者機関による地盤調査・「20年間の地盤保証」を実施し、保証をお施主様に提出している。また、全棟　長期間の断熱材の無結露保証を実施している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）千の国優良住宅	（地域型住宅供給対象地域）千葉県及び埼玉県、茨城県、東京都、神奈川県、福島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）千の国研究会	（結成年）2014　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0777-0235	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	住宅タイプに係らず、30年間の保管・管理を行い、住宅履歴を積極的に活用している。			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅タイプに係らず、30年間の保管・管理を行い、住宅履歴を積極的に活用している。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：情報サービス機関「㈱フォーラム・ジェイ」を利用している。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：同社発行の住宅履歴情報証明書	◎
	② メンテナンス基準の整備				
	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の点検記録書及び定期点検時期を設定している。	◎
	②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の点検記録書及び定期点検時期を設定している。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：点検・補修の結果は住宅履歴情報に蓄積している。	◎
	③ 住まいの管理				
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：企画委員会が中心となり、地元地域の消費者及び地場産業を取り入れたイベント（勉強会等）を定期的に開催している。（住まいの学校、クルージングランチ、懇親会等）	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：同上	◎
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：同上	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：グループ定例会において、点検や不具合等の事例を持ち合って改善検討会を設置・開催している。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：住まい手からのトラブルに即時対応できるよう維持管理体制の強化を図る為、24時間コールセンターサービスを設置する。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：○構成員相互の廃業時の引継ぎ制度を定めている。 ⇒当該物件の維持管理の継続が困難になった場合（廃業・倒産等）には近隣の構成員へ引継ぎを行い、維持管理を継続する。実施にあたっては引継合意書を作成する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：定例会において、瑕疵や震災等における被害に関する情報交換を行い、対策を検討している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		第三者機関による現場検査と瑕疵保険の加入。 「共通ルールのチェックリスト」を作成して、物件ごとに確認をおこなう。			◎

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の実物件で未経験の施工店を対象とした勉強会、現場見学会を実施しており、未経験施工店の技術向上を積極的に推進している。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：標準仕様の順守が品質の向上、管理に繋がっている。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：標準仕様を含めた「共通ルールのチェックリスト」を作成して、物件ごとに確認をおこなう。	◎
	③-1 需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：合同イベントを継続的に開催し、一般消費者に国のロードマップを踏まえたこれからの住宅を広く広報を行い、さらなる認知度アップを図っている。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：今後工務店数を増やし、さらに地域に根付いたグループ活動、相互技術向上を目指す。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：グループとしてのスケールメリットを活用し、グループ合同イベントやホームページの充実を計り、流通等の合理化を図っている。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　21	今年度の参加目標人数　3	全施工構成員の受講は完了しているが、更に受講完了者が増えるようと呼びかけていく。	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数	今年度の参加目標人数	請負技能者の受講に関する取組は設定しない。	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：グループとして省エネ施工技術力の向上を目指す為、事務局が中心となり、講習を受けていない施工店に対し「住宅の省エネルギー技術講習会」の参加を積極的に呼び掛けていく。	◎
c	① 新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：当グループでは、住宅政策委員会・企画委員会が中心となり、最新の制度や国が推進する事業に対する勉強会を実施し、グループ全体へ発信することにより、グループ内の技術力や知識向上を図っている。	○
	② 新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：太陽光発電設備に対して、第3者機関による「日本初の10年定期点検プラン」の導入を検討する。（ゼロ・エネルギー住宅・太陽光発電住宅のみ）	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

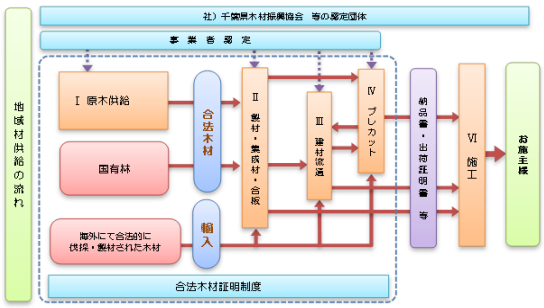
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）千の国優良住宅	（地域型住宅供給対象地域）千葉県及び埼玉県、茨城県、東京都、神奈川県、福島県	
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）千の国研究会	（結成年）2014 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0777-0235		

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・グループで指定した地域材を主要構造材（柱・梁・桁・土台）に使用する。また、2次部材についても積極的に使用する。 ・今年度においては使用割合に関する共通ルールは設けず、必達目標数値として4㎥（主要構造材合計）を設定する。 ・2次部材については昨年同様、使用部位・使用量等は共通ルールでは設定しない。 建築にあたってはほぼ全ての木材に地域材を使用している為、割合・部位を記載すれば下記②・③の通りだが、イレギュラーケースへの対応、申請における書類作成の事務負担軽減の観点から、共通ルールとして上記3点とする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　□ 50%以上　■ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：□ 使用していない　■ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：事務局が中心となり、施工店の受注状況などを供給事業者（原木供給・製材・流通）へ情報を提供行い、供給事業者より地域材や合法木材などの出荷状況を施工店へ情報提供し、地域材の供給量等をグループ構成員が情報共有できるようにする。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：構成員より地域材使用量に関する情報を共有し、収集分析を行うものとする。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：昨年度までからの実績から、1棟当たりの地域材使用量を試算。供給予定戸数と乗算した数値を予測数量としている。	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：日本文化継承の面から、和の仕様を積極的に提案しているが、お施主様の意向に沿わない場合もある為、①-1～①-4については具体的には設定していない。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：日本文化継承の面から、和の仕様を積極的に提案しているが、お施主様の意向に沿わない場合もある為、①-1～①-4については具体的には設定していない。	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：千葉県の環境にやさしい家づくりの為、日光や自然の風を活用したエネルギー使用量を抑えた工夫を取り入れる為、住宅通風シュミレーションを実施している。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：千葉県の農業産出額は全国第2位と盛んであり、地元農家と連携・協力して、地域の消費者及び地場産業を取り入れたイベント（千葉の食文化勉強会、農産物即売会等）を計画し、地産地消と千葉の食文化・食育・住育の普及に努める。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：「災害復興緑化プロジェクト」活動への積極的な参加・告知を進めている。同プロジェクト活動の情報をHP等でお客さまへ積極的に告知し、緑化活動を推奨提案している。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：日本文化継承の面から、和の仕様を積極的に提案している	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	「災害復興緑化プロジェクト」活動への積極的な参加・告知を進める。 ⇒東日本大震災により千葉県内海岸埋め立て地域を中心とする液状化現象によって噴出した大量の土砂の一部を再利用し、植栽基盤層を作り、緑化推進や高潮を軽減する「緑の防潮堤」の育成が目的で植樹活動が行われている。 ⇒当グループでは「災害復興緑化プロジェクト活動」の情報をHP等でお客さまへ積極的に告知し、緑化活動を推奨提案する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 千の国優良住宅	（地域型住宅供給対象地域） 千葉県及び埼玉県、茨城県、東京都、神奈川県、福島県
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称） 千の国研究会	（結成年） 2014 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0777-0235	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【当グループのゼロエネルギー提案住宅の特徴】
①ゼロエネルギー評価方法と評価（様式5　抜粋）
・評価方法：平成28年度省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法
・モデルプラン評価結果　1）千の国研究会（5地域）：UA値0.55 エネルギー削減率 （全体R）100.0% （太陽光発電を除くR0） 30.0%
2）千の国研究会（6地域）：UA値0.55 エネルギー削減率 （全体R）100.0% （太陽光発電を除くR0） 30.0%
②その他の特徴
●太陽光発電設備に対して、日本初の10年間定期点検プランを積極的に導入する。

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。